

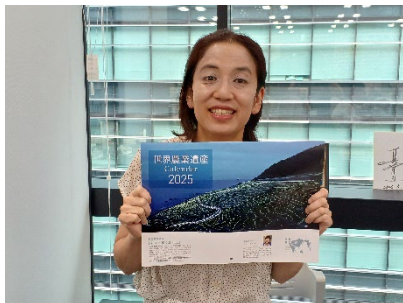
「世界農業遺産に関する連載記事の掲載&カレンダーを発行」

活動内容



2023年度に農業ジャーナリストの小谷あゆみ氏が全国15地域を巡り、農業農村の活性化と持続可能な未来へのヒントを探る企画「未来へ続く農の道」で、全国各地の世界農業遺産を紹介する記事を連載しました。2024年秋には、これらの連載をまとめた2025年版のカレンダーを発刊しました。このカレンダーの利益の全額は、能登地域GIAHS推進協議会を通じて能登半島の地震・豪雨被災地の農業復興に寄付されています。

企業の声



日本農業新聞は、日刊の農業専門紙です。2023年度に、本紙企画「未来へ続く農の道」と題し、日本国内に15カ所ある世界農業遺産をジャーナリストの小谷あゆみさんが各地を訪れ、写真とともに紹介しました。2024年元日に能登半島地震が発生し、「能登の里山里海」をはじめ農業にも甚大な被害がありました。そこで、当社としても何か被災地を応援ができないかと、世界農業遺産を特集した際の写真を活用したカレンダーを作成しました。カレンダーは通常12カ月なのですが、15カ所ある農業遺産地域全部を紹介したいという思いから、15カ月カレンダーとして制作しました。2026年版は残念ながら農業遺産カレンダーは製作できませんが、今後また紙面を含め農業遺産を紹介できるコンテンツを検討していきます。